

# 地域資源ネットワークみえ

地域資源の最大限の活用して、地域共創循環社会を目指す

私たちは国の推し進める未来づくりの一つ「脱炭素先行地域」を実現するために、桑名市の地域資源を有効活用する方法をコーディネートします。ゼロカーボンシティとして地域共創循環社会をめざすためには、市民一人一人の生活に身近なことから活用する必要がありますが、それがいったい何なのか、どんな成果が期待できるのかが分かりにくいのが現状です。脱炭素社会に向けた専門家である私たちは市民の「シナリオライター」となって、地元産業の活性化につながる地域資源の活用プランを提供します。桑名市の地域おこしにも繋がる活動です。

ゼロカーボンシティ桑名市  
をテーマに  
市民のみなさんと  
活動します。

## ■ わたしたちについて

脱炭素社会の実現に向けた様々な施策を産官学金を連携して行います。

## ■ 目指しているもの

地域資源で創意工夫をし新たな価値を創造することで、中小企業・中小農家の事業が活性化すること

## ■ どんな活動をしているのか

- 定期的なイベント（講演会・ワークショップ）などの企画。SDGsの普及・啓発活動、実践活動をワークショップなど。
- ビジスマッチングで経済効果を生む手段を創る。
- 自然エネルギーの調査、促進のための計画立案
- 耕作放棄地、放棄竹林などの有効活用や振興策の調査と実施
- 桑名市役所、商工会議所、三重大学との連携による企業向けセミナー。（省エネ、ZEB、ZEH関連）

## ■ 最大の受益者は？

### 1 地域の一次産業を担われる タケノコ農家

放棄竹林問題が広がる中、竹素材が脱炭素社会への有効な手段として、竹の繊維や素材を使った新商品を開発したり、バイオマス発電の燃料としても使用することができます。

### 2 明治以来のくわな産業である 鋳物産業の会社

国産薪ストーブとバイオマスプラントのパーツ（燃焼炉）に鋳物が使うことができます。

## ■ 将来の展望として目指したい事業

将来の展望として目指したい3つの事業

鋳造技術を磨き世界で通用する

- 薪ボイラーのメイドイン桑名版の製造
- バイオマス発電プラントの小型版（桑名版）の製造
- 二国間クレジット

現実的な課題として、農家の高齢化や鋳物産業の斜陽化などが挙げられますが、当NPOはこのテーマに光を当てて再生・再興の第一歩となるような取組みを行います。

## 有効な資源活用の方法

エネルギー分野  
バイオマス発電  
電気を創る。  
蒸気を創る

ケミカル分野  
繊維を利用  
衣類  
大人用紙おむつなど

アグリ分野  
竹を微粉末にして  
田んぼに撒くことで  
米の糖度が上がる。

建築資材  
脱プラ分野  
竹の集成材、竹炭、  
脱プラで代替品の  
制作

その他の分野

## アクションプラン

### 何によって実現するか？

地域資源を有効活用すること  
新たな価値をつくること。

地域の放棄竹林  
耕作放棄地  
ごみ資源など